

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 49 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

発行日：2004年6月5日(土)

発行者：浮 田 徹 也



漢方薬のよさ(49)

漢方の歴史



陽気と陽光、雨が草木を育てる季節です。日ごとに葉が茂り、背丈が伸び、花をつけ、私の目を楽しませてくれます。もう直ぐ、牛窓(岡山)ではオリブの白い十字の可憐な花、東林院(京都)では沙羅双樹の花、後楽園(岡山)ではハスの花、新旭菖蒲園(高島郡)では花菖蒲の花、六甲山ではアジサイの花・・・私の頭の中でいろいろな風景が鮮やかに甦ってきます。六月下旬、日本東洋医学総会(横浜)に出席し、多くの医師と意見を交換し、日常の診療に活かすつもりです。時間があれば、鎌倉のアジサイ(長谷寺、明月院)を観賞する予定です。

今月は漢方の歴史についてです。二五〇〇年前の中国には、自然治癒力を促す高い水準の医学(鍼灸、草根木皮の薬湯)が発達し、



滋賀院門跡(円山応挙の犬)

犬の目をよく見て下さい。上下左右、どの方向を見てもあなたの方を向いています

現存する古医書の中には一八〇〇年前に書かれた、漢方医学の原典とも言われる「傷寒論」「金匱要略」があり、私の使用する漢方薬の半数が記載されています。日本には奈良時代に鑑真が漢方医学を伝えたと言われます。室町

時代には、明に留学した田代三喜に師事し、日本独特の医学を生み出した曲直瀬道三等によって「後世派」と呼ばれる流派が作られ、江戸時代には、腹診を中心に漢方薬を処方する流派「古方派」が吉益東洞等によって出現しました。江戸末期、明治時代、後世派と古方派を取り入れ「折衷派」と言われた浅田宗伯は、洋医(西洋医)と対等に治療をする能力を持った漢方医でした。私の漢方治療はこの「浅田宗伯」の流れを汲み、現在私が使用している漢方薬の九割が浅田宗伯の著書「勿誤方函口訣」の処方です。

では、実例を挙げましょう。

二八歳女性、アトピー性皮膚炎、

憂鬱、疲労感、食欲不振、便秘、

肩こり、首のこりで来院。顔は

青黒く、額、両頬と顎、首、胸

背中、下腹部、肘、膝裏、下肢

にジクジクした丘疹と紅斑があり、

とても痒い。腹は硬く緊張し、

心下部に抵抗圧痛、両側腹直筋

の緊張、季肋部と臍傍と臍下左

右に抵抗、臍上に動悸を触れ、

皮膚に引っかけ傷が多数見られた。





脈は弦、滑、速い。舌は紫赤色、薄い黄苔。そこで、四逆散、桂枝茯苓丸、桔梗石膏、サフランと太乙膏、紫雲膏を処方。一ヶ月後、皮膚のジクジク、赤みと痒みが減り、五ヶ月後、皮膚が乾いてきたので、柴胡清肝湯、桂枝茯苓丸、サフランに変更、太乙膏、紫雲膏を併用した。一年後、皮膚のザラザラは残っていたが、紅斑はほとんど消失。五年後、漢方薬を中止、太乙膏と紫雲膏を時々塗ればよい状態になった。

二七歳女性、過敏性大腸、排卵痛、便秘、下痢を訴え来院。顔色は青白く、肌は荒れ、お腹は柔らかく、両側腹直筋緊張、両側肋骨下に抵抗圧痛、心下部と両側臍傍に圧痛。脈は細く、舌は淡紅色、薄白苔。柴胡桂枝湯、桂枝加芍薬湯を処方。一ヶ月後、下痢も便秘も減り、三ヶ月後月経痛がなくなった。二年続けて廃薬。四年後も再発していない。

六七歳女性、骨粗鬆症、腰痛、便秘、おりもの、胃腸が弱く、空腹感がなく、食後の胃もたれが激しい。顔は青白く、腹はやわらかく、心下部と下腹部が弱く膨満。脈は



〔院長〕

沈んで、遅い。舌は淡白、薄い白苔。そこで、六君子湯、修治附子、フオサマツク（骨吸収を抑制）、エストリオール膈剤（女性ホルモン剤を処方。二ヶ月後、胃腸の症状が改善。半年後、腰痛も減少。二年後、骨量が増加。現在も継続中。

四九歳男性、坐骨神経痛、腰痛、下肢痛、肩こりで来院。顔色は赤く、体格良好、脈は力があり、弦、数。舌は淡紅色。腹は弾力性があり、両側臍傍圧痛、両側腹直筋緊張。そこで、左右志室、次髎、委中、陽陵泉、崑崙、肩井、肩中俞に管針法を施した。十五分後鍼を抜き、桂枝茯苓丸を処方。三日間続け、仕事に復帰。一年間、桂枝茯苓丸を継続。

ホームページを一部更新し、私や入院中の食事、妊婦教室の写真を変更しました。

今回は、脾についてです。



アトピー性皮膚炎

こころとからだと環境に影響を受けます。不満や心配を減らし、環境を整え（ダニ、カビ、衣類、食べ物、湿度・・・）、乾燥肌（鮫肌、カサカサ）を治すため、漢方薬（内服、外用）を中心に、ステロイドなども併用するとよいでしょう。



過敏性大腸

漢方医学では、心と小腸は表裏の関係にあり、「こころ」の苦痛が「腸」に表れます。下痢タイプ、便秘タイプ、下痢、便秘交替タイプがあり、冷え、緊張（ストレス）、感情（怒り）、水毒（むくみ）を調整する漢方薬をお試ください。



骨粗鬆症

骨量は、成長期のカルシウムや蛋白の摂り方、運動の仕方が影響します。女性の骨量は閉経以後、急速に減少、男性は、50歳を過ぎるころから徐々に減少します。当院は、定期的に骨量を測定しながら治療しています。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤**タイプ**の漢方薬と顆粒**タイプ**の漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。**40～60分煮て**作ります。

当院の**顆粒タイプ**の漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、**冷蔵庫で保管**して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の**漢方薬専用容器**（無料）をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性肺炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症・中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診察法（**四診**）や検査（超音波、血液、便、尿、腔分泌物、心電図、骨量測定・・・）などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定（4～6ヶ月ごと）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査（尿）も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名と**ID番号**を書き、**処置の欄**にチェックして下さい。

皮内針、針管付き鍼

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー（神経照射）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくし、腰痛、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬（生薬）のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・太乙膏 ・アガリスク ・メシマコブ
- ・靈芝 ・AHCC ・サメ軟骨

漢方入浴剤

- ・美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび・・・
- ・昇竜湯：腰痛、肩こり、神経痛、疲労回復・・・
- ・アトピーの方の漢方入浴剤もお作りします。

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、**計画的に診療と治療**を行います。往診と違い、**定期的に（月に2～72回）訪問診療**を行い、患者さんの健康を管理します。**在宅診療についてお気軽にご相談下さい。**

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、**保険証の変更**は、早急に受付に連絡して下さい。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、**居宅療養のお手伝いをする制度**です。**費用は1割の負担**になります。**介護保険に制約されません。**（原則として、月、水、金に訪問しています）

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◇漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◇更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◇不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◇妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◇助産師相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：7月14日(休)、8月6日(金)、9月3日(金)
 10月13日(休)、11月5日(金)、12月8日(休)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)

場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

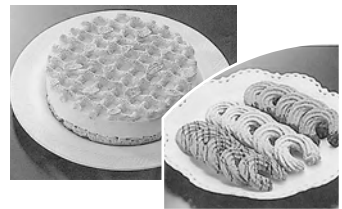
日時：6月9日、23日、7月7日、21日
 8月4日、18日、9月8日、22日(休)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

ギッフフェリー (Gipfeli) は、美味しさ満点のクッキーです。
 さくとした食感で、口の中で直ぐに溶け、アーモンドの
 風味が広がり、なんとも言えない余韻が残ります。

マンテルギッター (Mandel Gitter) と言ういつもと違う表情の
 お菓子もご用意します。ギッターは「網」のことで、シュー生地を
 絞って作りました。ご期待ください。



鍼

鍼治療は、古代中国で発達し、九鍼^{しん}という9種類の針を使用していたそうです。
 その中で、毫針という毛のように細い針が最も重用されました。
 日本には、奈良時代初めに伝わり、江戸時代に急速に普及しました。
 現在は、刺針を手際よく行える管針法(右図)を用いることが多くなりました。
 当院でも、いろいろな疾患に管針法を応用しています。



当院で分娩を予定されておられる方

妊娠34週までに受付で予約して下さい。ご予約
 には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。
 予約された方には、母と子のてびきをお渡しします。

第16回妊婦のための料理教室

日付：7月8日(木) 時間：午前10時～午後2時
 献立：フランス料理 対象：妊婦の方(無料)

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて、ウッキー！ Dr. ウッキーの悩み相談、
 婦人科、産科、漢方、友達に教える、外来診療の
 ご案内などを掲載(i-mode対応)。

パソコンホームページのリニューアル
(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(当院の漢方治療、症例)
 産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
 老人医療のページ(在宅訪問診療、予防接種)
 当院の施設案内、当院への交通(車、JR)
 周辺の観光地など掲載(滋賀県)。

助産師相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分に対応します(無料)。
 日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、
 メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、
 各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。